

### 背景・課題

#### 資源に恵まれ伸び代がある地域をデザインで変えたい

- Uターンして「オンリーワンかつナンバーワン」な地域資源に恵まれ、かつ、レトロな雰囲気を残すまちの可能性を感じたが、上手く活用できていない、勿体ないと感じた。
- チラシや商品パッケージ、WEBページなど、まちのデザインを一つ一つ変えていき、最終的には「まちの文化」をアップデートしたいと考えた。



「咲くカフェ」近隣に回遊性・エンターテインメント性がある「集落=タウン」を構築。「遊園地」の発想で、複数あればお客さんが集まる。

### 主な取組

#### デザインを集約した店舗をリノベーションで実現



- 大切なのは口だけではなく「自分でやる」こと。様々なデザイン集約した先に、空間や時間、体験を売る「咲くカフェ」に辿り着く。築40年の自宅をリノベーションしたカフェ&ゲストハウス。
- 続いて、周辺の空き家をリノベーションして活用する「咲くカフェタウン」に取り組む（現在、第2号店の「咲くカフェ Flower」を出店）。

### 注目 咲くカフェタウン



集客・交流人口・雇用を生み、地域住民の満足度を向上させる仕組み。

### Expansion・Expand／これから

#### 「大子デパート」にて一つの集合体ブランディング

- レトロな商店街を一つの集合体としてブランディングしていく。町の方向性がまとまり、住民も自然にその方向へ。
- 情報整備・発信としてクラフト市、共通のブリキ看板、地元のおしゃれなカフェを紹介する「大子カフェネット」、地元新鮮野菜を売る「大子野菜」等の取組を推進。取組のロゴを共通化して「大子」としてのブランディングを推進したい。



### メッセージ／想い

#### デザインので地方創生の見本になる取組に



- 「デザインで物事をエンターテインメント化する」、「笑顔を生む感動をデザインする」ことが自分たちの仕事。
- 当初、将来来るであろう「地方の時代」にて、まちを牽引できる存在になるという使命感を持って開始した。カフェの実績を重ねて地域の各団体・各所に入り込むようになり、今後も各取組を成長させていきたい。